

<転勤族ママ> トーク

転勤族ママ ご紹介

Sさん

長男(11歳)・長女(7歳)・
次女(4歳)のママ。
ご主人は県外で単身赴
任中。



Kさん

2歳になる女の子のお母さん。
自身は関東地方出身。



Tさん

長男(8歳)・次男(5歳)のママ。
夫婦ともに東海地方出身。



情報収集&
友だちづくりが必須！
転勤地になじむ方法

作製委員(以下作) 私たちも転勤族なので、皆さんのお話には大変興味があります。

まず始めに、皆さんの転勤歴を教えてください。

Kさん(以下K) 東京から新潟に引っ越してきて、今年で3年目です。私は関東地方出身ですが、主人は新潟生まれです。

Sさん(以下S) 私は新潟県出身。転勤歴は4回です。新潟市に来て1年半が経ちました。

Tさん(以下T) 私たち夫婦は共に東海地方出身。東京で知り合って、転勤で新潟に来ました。こちらに来て1年目です。



土地が変われば
子育ても変わる！
転勤族ママが感じる
新潟での子育て事情



作 これまでの転勤地と比較して、新潟での子育てで感じることは何かありますか？

S 子どもが気軽に遊べる「近くの公園」みたいなスペースが、新潟は少ない気がします。うちの子も私たちは、少し離れた公園まで自転車で行けるので、ちょっと心配です。

T 私もそれは感じますね。あと、児童館のような場所も少ない気がします。

K 新潟は雪が降ると外で遊べないから、児童館のよくな屋根のある施設が

近くにあるといいですね。

作 新潟での暮らしの中で、良かったこと・うれしかったことは何かありますか？

K うれしかったことは、子どもを連れていって皆さんが声を掛けてくれること。本町や古町を歩いていると、おばあちゃんが声を掛けてくれて、たまにお菓子をくれたり。

T 新潟の人は優しいし、温かい感じがするよね。役所の対応も他より優しい気がします。

S あと、市内は転勤族が多いので友だちもできやすいです。気さくに声を掛けてくれる人も多く、友だちができる気分も変わりますよね。

転勤もいいこといっぱい！
転勤族ママへのエール

作 転勤って「大変」というイメージが強いですが、得られるものも多いですね。

K 知らない土地に来て、暮らしてみても初めて分かることもたくさんありますよね。私は「海なし県出身なので、新潟は海も山も近く、すてきな場所だと思いました。



S 旅行では行けないような観光地にも、くまなく行けるのがいいですね。転勤地では、後悔しないように家族であちらこちらへ出掛けるようにしています。

S 一人でも仲の良い人ができれば、転勤地での生活もずっと楽しくなるはず。まずは自分が一歩踏み出して、交遊の輪をつくらせてください。

K 自分を追い詰めないで、精神的な逃げ場をつくってください。私の場合だと、自分の体調が悪いときにシルバー人材センターを利用して、家事や子守りをお願いしたり、子連れで行ける接骨院やヨガ教室がそうなんです。そういう場があると、息抜きになりますから。

作 新しい土地に早く慣れるための方法・コツはありますか？

K 毎週ポストインされるフリーペーパーの情報を頼りに、地元イベントをチェックして参加しています。家にこもっているより、出かけた方が気分転換になるし、その土地のことも分かってきますよね。

S 私は市役所などに連絡をして、転勤族ママが集まるサークルを紹介してもらいます。そこに参加して、転勤地の情報を集める。子どもを預かってくれる施設や病院の情報は、口コミの方が信用できるし安心です。



取材を終えて

作製委員・竹田

私自身も転勤族で、新潟で子どもを産み、子育てをしています。子どもを連れての引っ越しは経験していませんが、今回の対談を参考にしたいです。

作製委員・町田

話を聞いていて、共感できることがたくさんありました。転勤は人生を豊かにしてくれるものと考え、私も楽しんでいきたいです。

作製委員・富塚

皆さんが転勤地で、情報収集や友だちづくりなど、私が考えている以上に積極的に行動していて驚きました。